

# 薬剤師の キャリア形成を 応援します

在宅医療に秀でた  
薬剤師を養成します



2026年度

大阪医科薬科大学薬学部

「薬剤師キャリア形成プログラム」

履修証明プログラム



Brush up Program  
for professional



大学発

医療・  
介護

文部科学大臣認定

職業実践力育成プログラム(BP)

## 目次

履修証明制度およびBPの説明	P. 2
「薬剤師キャリア形成プログラム」の特徴	P. 3
各プログラムの紹介	P. 4
受講生募集要項	P. 6
受講申込書	P. 7

## 履修証明制度とは

履修証明プログラムとは、学校教育法第105条及び学校教育法施行規則第164条の規定に基づき、大学のより積極的な社会貢献を促進するため、主に社会人等を対象とした一定のまとまりのある学習プログラムを開設し、その修了者に対して学校教育法に基づく「履修証明書」(Certificate)を交付するものです。[\(https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/shoumei/\)](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/shoumei/)

「履修証明書」は現在政府が推進している「ジョブ・カード制度」においても「職業能力証明書(ジョブ・カード・コア)」として位置付けられており、今後、自身のキャリアアップやキャリアプランに有効に活用できます。

## 文部科学大臣認定「職業実践力育成プログラム(BP)」とは

大学、大学院、短期大学及び高等専門学校(以下、「大学等」)の正規の課程と履修証明プログラムで、主に社会人を対象とした実践的・専門的な課程を「職業実践力育成プログラム(BP)」※として文部科学大臣が認定しています。[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/bp/index.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/bp/index.htm)

主に実務家教員による授業やグループ討論等の科目で構成されており、実践的・専門的な授業を受けられます。平成27年度に制度が創設され、毎年新たなプログラムが認定されています。

※ 正規課程と60時間以上の体系的な教育カリキュラムで構成される履修証明プログラムが対象。

BP: Brush up Program for professional



Brush up Program  
for professional

## 教育訓練給付制度

本プログラムは、厚生労働省が実施する教育訓練給付制度に応募予定です。

# 「薬剤師キャリア形成プログラム」について。

厚生労働省の「薬剤師の養成及び資質向上等に関する検討会」が公表した「とりまとめ」（令和3年6月 [https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage\\_19562.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_19562.html)）において、「薬剤師の教育は、大学卒業・免許取得で完結するものではなく、卒後の生涯研修が不可欠である。」「薬剤師をとりまく様々な変化に対応するためには、常に自己研鑽に努めて専門性を高めていく対応が必要となる。」と提言されています。

地域医療構想において、良質かつ適切な医療を効率的に提供できる体制を確保するため、病床再編等、医療機関の機能分化・連携が進められるなど、医療提供環境は変革の時期を迎えています。また、医療・福祉・介護を地域で支える地域包括ケアシステムが構築されており、薬剤師は病院・薬局を問わず自身の置かれた立場において医療専門職として貢献することが求められています。

本プログラムは、今後の活躍が期待される薬剤師の育成を目的に、在宅医療に秀でた薬剤師の養成を目指します。本プログラムの履修修了者には、履修証明書を交付します。

## トピックス

令和6年度、本学の「薬剤師キャリア形成プログラム」が文部科学省の職業実践力育成プログラム（BPプログラム）として文部科学大臣の認定を得ました。

## 詳しくはこちら

令和6年度「職業実践力育成プログラム」（BP）の認定について（文部科学省）

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/koutou/bp/1411849\\_00007.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/bp/1411849_00007.htm)



## プログラム概要

本プログラムは、本学薬学部生涯学習センターの講座を基盤とし、大学院の授業を組み合わせたプログラムとなっています。今後の在宅医療では医療機関との機能分化・連携が推進されると見込まれることから、地域包括ケアで求められるフィジカルアセスメントや無菌調製、認知症や褥瘡への対応能力を身につけます。また、漢方医学の基礎を学修し、セルフメディケーションの支援能力を身につけます。さらに、医薬品の適正使用、医療倫理、最新の薬物治療・診療技術に関する情報などについても学修します。

## カリキュラム

### 履修

履修期間：2年

履修時間：60時間以上

各講座の受講により「生涯研修認定制度」の単位も取得が可能です（一部の講座を除く）。取得した単位は、認定薬剤師の申請時にも利用可能です。

### 受講形式

スキルアップ講座：対面（実技）

漢方基礎講座：オンデマンド

先端医療講座：対面＋WEB

医療評価薬学：対面あるいはオンデマンド

医療薬学総論：対面あるいはオンデマンド

## ■スキルアップ講座【必修】（合計26.5時間、双方向、ワークショップ）

第1回～第3回（後期、土曜日開催）第4回～第10回（日曜日開催）場所：薬学部（奈佐原キャンパス）  
臨床で活躍する薬剤師に求められる知識・技能の向上、ならびにチーム医療における薬学的管理に必要な評価能力、判断力、実践力を涵養します。さらに、在宅医療に従事する薬剤師に求められる各種技能を修得します。

回	授業内容	時間 (時間)	担当教員
第1回	臨床評価演習(地域社会における医療・福祉・介護1)	1.5	中村 敏明 大阪医科薬科大学薬学部
第2回	臨床評価演習(地域社会における医療・福祉・介護2)	1.5	角山 香織 大阪医科薬科大学薬学部
第3回	超高齢社会における臨床評価	1.5	中村 敏明 大阪医科薬科大学薬学部
第4回	フィジカルアセスメントセミナー(ベーシック)	3	森 龍彦 大阪医科薬科大学医学部
第5回	フィジカルアセスメントセミナー(アドバンスト)	3	
第6回	褥瘡治療実技セミナー	4	古田 勝経 愛生館小林記念病院 褥瘡ケアセンター
第7回	無菌調製実技セミナー	4	矢野 良一 大阪医科薬科大学薬学部
第8回	認知症サポーター養成講座	2	龍元 志保 阿武山地域包括支援センター
第9回	オーラルケアと健康	3	中村 敏明 大阪医科薬科大学薬学部
第10回	生命医療倫理セミナー	3	阪本 恭子 大阪医科薬科大学薬学部

## ■漢方基礎講座【必修】（各回1時間、合計10時間 オンデマンド受講）

この講座では、勉強しても漢方薬がよく分からないと思っている薬剤師の先生方に対して、可能な限り簡便な言葉や考え方で解説します。さらに、薬学の立場から漢方薬を構成している個々の生薬の薬能（経験的効能・効果）について理解を深め、各漢方薬の特徴をイメージ出来るように解説します。

回	授業内容	時間 (時間)	担当教員
第1回	「陰陽論の捉え方(概論)」	1	芝野 真喜雄 大阪医科薬科大学 薬学部
第2回	「五臓の捉え方(概論)」	1	
第3回	「カゼに用いる漢方薬」	1	
第4回	「水に作用する漢方薬の考え方(利水, 滋陰)」	1	
第5回	「血に作用する漢方薬の考え方(補血, 駆瘀血)」	1	
第6回	「氣に作用する漢方薬の考え方1(補氣)」	1	
第7回	「氣に作用する漢方薬の考え方2(理氣)」	1	
第8回	「身体を冷やして治療する漢方薬(清熱)」	1	
第9回	「身体を温めて治療する漢方薬(温裏)」	1	
第10回	「精神科領域で用いられる漢方薬(五臓:心、肝)」	1	

## ■ 先端医療講座 【必修】（各回3時間、合計9時間、対面またはWEB受講）

日曜日開催 場所： グランフロント大阪タワーB10階 ナレッジキャピタルカンファレンスルームRoom B05+B06  
疾患ごとの病態と薬物治療や患者サポートなどについて、専門の医師と薬剤師の講演によって学びます。  
医師と薬剤師の双方から学ぶことで、疾患を多面的に深く理解するとともに、最新の治療を理解することを目的とします。

開催日	講演タイトル	時間 (時間)	講師
第1回 5月24日 (日)	「麻薬（日本における規制と薬物依存）」	1.5	元近畿厚生局麻薬取締調査総務課長・ 麻薬取締官 寺崎 隆弘 先生
	「市販薬オーバードーズについて」	1.5	国立精神・神経医療研究センター（東京） 松本 俊彦 先生
第2回 8月2日 (日)	「守備範囲の広い薬剤師活動を支えるAI活用技術 × 業務標準化 × DXの掛け算とは」	1.5	大阪府済生会中津病院 薬剤部長 萱野 勇一郎 先生
	「テクノロジーの進化による今後の薬剤師像」	1.5	株式会社カケハシ 代表取締役社長 中尾 豊 先生
第3回 10月25日 (日)	「高血圧管理・治療ガイドライン 2025のポイント —実臨床での指導と管理、治療の実際—」	1.5	医療法人八田内科医院 院長 京都府立医科大学 臨床教授 八田 告 先生
	「高齢者高血圧の特徴と治療のポイント：開業医の 視点から」	1.5	医療法人勝谷医院 院長 勝谷 友宏 先生

## ■ 医療評価薬学 【必修】（合計12時間、対面あるいはオンデマンド）

全回（後期、木曜日開催） 場所：薬学部（奈佐原キャンパス）

日本や諸外国における医療制度及び薬事政策、医療技術評価、医薬品の臨床評価、医薬品に係るリスク管理のフレームワークについて、実務家教員が概説します。

回	授業内容	時間 (時間)	担当教員
第1回	行政薬学1	1.5	恩田 光子 大阪医科薬科大学薬学部
第2回	行政薬学2	1.5	
第3回	医療技術評価1	1.5	
第4回	医療技術評価2	1.5	
第5回	医薬品の臨床評価1	1.5	中村 敏明 大阪医科薬科大学薬学部
第6回	医薬品の臨床評価2	1.5	
第7回	医薬品のリスク管理1	1.5	矢野 良一 大阪医科薬科大学薬学部
第8回	医薬品のリスク管理2	1.5	

## ■ 医療薬学総論 【自由選択】（合計12時間、対面あるいはオンデマンド）

全回（前期、土曜日開催） 場所：薬学部（奈佐原キャンパス）

医療薬学、薬学臨床および生物・予防薬学等の領域において必要とされる知識を修得し、各領域の連関を理解することを目的に最新の情報を提供するとともに、薬物専門家としてのプロフェッショナルリズム教育を学びます。

回	授業内容	時間 (時間)	担当教員
第1回	医薬品体内動態(1)	1.5	戸塚 裕一 大阪医科薬科大学薬学部
第2回	医薬品体内動態(2)	1.5	永井 純也 大阪医科薬科大学薬学部
第3回	病態薬理学概論	1.5	大喜多 守 大阪医科薬科大学薬学部
第4回	医薬品情報	1.5	中村 任 大阪医科薬科大学薬学部
第5回	医療リスクマネジメント	1.5	中村 敏明 大阪医科薬科大学薬学部
第6回	医療評価薬学概論	1.5	恩田 光子 大阪医科薬科大学薬学部
第7回	感染制御概論	1.5	駒野 淳 大阪医科薬科大学薬学部
第8回	核酸医薬概論（変更予定）	1.5	浦田 秀仁 大阪医科薬科大学薬学部

### [申し込み]

随時受け付けています

### [募集要項]

募集人数	10名程度	
応募要件	実施目的を理解し、以下の条件を満たす者 ① 本学大学院学則第17条及び本学大学院薬学研究科規程第4条に規定する本学への入学受験資格を有する者 ② 日本国の薬剤師免許を取得している者 ③ 心身ともに健全で、研修を受講し得ると判断できる者 ④ インターネットを使用できる環境がある者 ⑤ zoom等のインターネットを使ったソフトウェアの基本操作ができる者 ⑥ 連絡用のメールを受信できる者	 BP公式WEBページ
受講料	3万円（2年間）	
受講申込	受付期間内に履修申請書※を「書留速達郵便」で郵送するか、本学教務課窓口を持参してください。書類審査による選考を実施し、履修可否を2週間以内に通知します。 ※ BP公式WEBページからダウンロードできます <b>【申請書の送付先】</b> 〒569-1094 大阪府高槻市奈佐原4-20-1 大阪医科薬科大学 薬学生涯学習センター 宛	





**Brush up Program  
for professional**

**【お問合せ先】**

大阪医科薬科大学 薬学生涯学習センター  
〈受付時間：平日9:00-17:00〉  
〒569-1094 大阪府高槻市奈佐原4-20-1  
TEL：072-690-1101(薬学部教務課)  
FAX：072-690-1105  
E-mail：p-omplec@ompu.ac.jp

